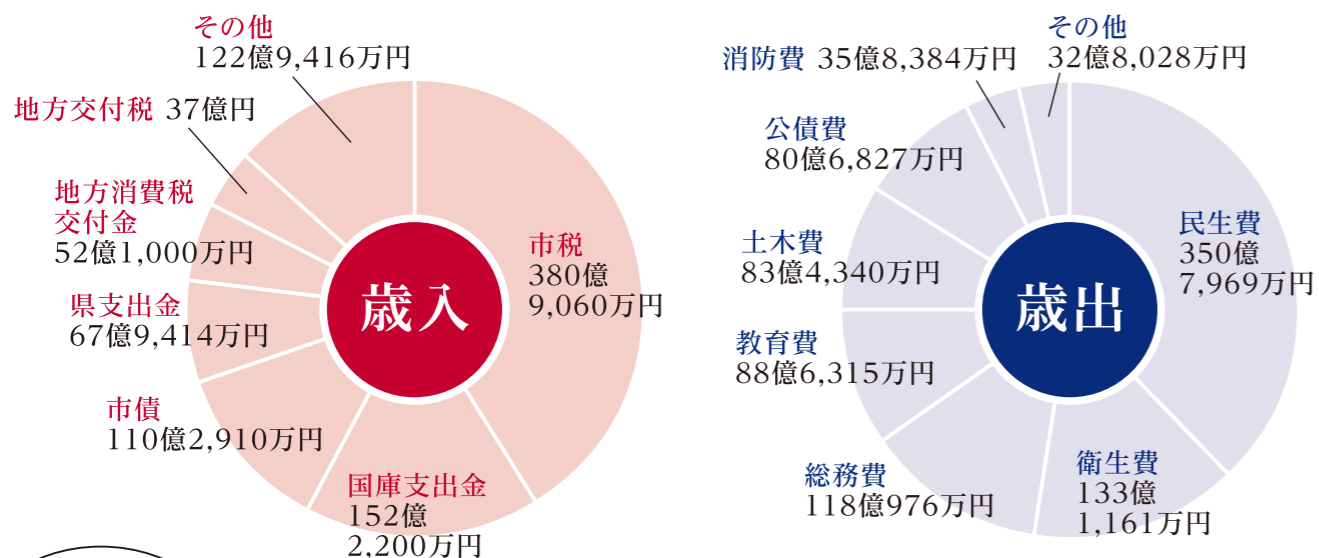


一般会計

923億4,000万円

対前年度比0.1%減



市民
1人当たりの
予算

35万924円

※人口26万3,134人
(令和3年1月1日現在)で計算。

民生費 13万3,315円	衛生費 5万589円
総務費 4万4,881円	教育費 3万3,683円
土木費 3万1,708円	公債費 3万662円
消防費 1万3,620円	その他 1万2,466円

特別会計

567億5,028万円

対前年度比5.4%増

国民健康保険事業	268億222万円	歯科保健センター事業	9,660万円
後期高齢者医療事業	39億6,249万円	病院事業債管理事業	47億2,416万円
介護保険事業	190億1,084万円	学校給食費管理事業	10億2,868万円
公園墓地造成事業	5,630万円	公設地方卸売市場事業	1億853万円
夜間休日応急診療事業	9億685万円	財産区	5,361万円

企業会計

240億444万円

対前年度比1.3%減

水道事業	95億6,766万円	下水道事業	144億3,678万円
------	------------	-------	-------------

特集 3

令和3年度 予算

「夢と希望を描き 幸せを実感できるまち」を目指して 予算総額は1,730億9,472万円

令和3年度は、喫緊の課題である新型コロナウイルス感染症への対応に加え、市内外の人に魅力を感じてもらえる“新しい加古川づくり”を目指す施策などを中心に予算を編成しました。一般会計は923億4,000万円で、前年度比8,000万円(0.1%)の減額となり、これに特別会計と企業会計を含めた予算総額は1,730億9,472万円で、前年度比25億4万円(1.5%)の増額となっています。

予算とは

市の予算は「一般会計」「特別会計」「企業会計」の3つの会計から成り立っています。

一般会計

福祉、健康、教育、防災、道路の整備など市の基本的な事業を行うものです。

特別会計

国民健康保険や介護保険の保険料など、特定の収入で事業を行うもので10会計あります。

企業会計

民間企業と同じように会計処理を行うもので水道事業、下水道事業があります。

総合計画の実現に向けて
予算を編成しました

市は市制70周年の節目を超え、新たな総合計画の下、次の一歩を踏み出します。今年度の予算は「新型コロナウイルス感染症対策」「新たなにぎわいづくり」「スマートシティの推進」の三つを柱に、市民生活の多岐にわたる予算を編成しました。

新型コロナウイルスの影響はまだまだ予断を許しません。引き続きコロナ対策に重点を置きながらも、新しい生活様式を踏まえたICTの活用やまちのにぎわいづくりに取り組めます。

これらを着実に進め、総合計画に掲げる「夢と希望を描き 幸せを実感できるまち 加古川」の実現に全力を尽くしてまいります。



岡田 康裕 市長

新型コロナウイルス感染症対策

ワクチン接種の実施



新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に必要な体制を確保し、市民の健康を守ります。

▶ 14億8,619万円

市内の店への経済支援

キャッシュレス決済時にプレミアムポイントを付与するキャンペーンを実施。落ち込んだ消費を喚起し、経済支援につなげます。



▶ 3億6,400万円

妊婦へのタクシー料金の助成

健診などの外出時に使えるタクシー料金助成券を配り、妊婦の感染に対する不安の軽減を図ります。

▶ 818万円

その他の主要事業

教育・学習環境の整備

GIGAスクール構想の推進

新たに整備した児童生徒1人1台のパソコンや大型モニター、学習支援コンテンツなどのICT環境を効果的に活用し、学習状況に応じた個別学習や、全員で学びを深める協働学習の充実を図ります。

▶ 1億7,559万円

中学校給食の完全実施



9月に神野台学校給食センターが稼働を開始。これにより市内全中学校で給食を実施することになります。

▶ 13億6,444万円

スポーツや文化の振興

オリンピック・パラリンピックの推進

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウンとしてツバルとブラジルの事前合宿を受け入れるなど大会機運の醸成を図り、国際文化の理解やスポーツへの関心を高めます。

▶ 3,381万円

新たなにぎわいづくり

加古川駅周辺に公共施設を移転・集約



完成イメージ

JR加古川駅周辺のにぎわいづくりと利便性向上のため、加古川図書館や貸館機能などを駅前商業施設内に移転。学習やリモートワークに使えるスペースも設けます。

▶ 11億4,411万円

加古川河川敷を生かした新たなにぎわいづくり

JR加古川駅から近い河川敷に、官民協働で新しいにぎわい空間の創造を目指します。また、冬にはイルミネーションイベントを開催します。

▶ 4,715万円

みとろフルーツパークの整備

みとろフルーツパークの魅力をより高めるため、自然を身近に体験できる観光拠点として整備を進めます。

▶ 1,667万円

「将棋の日」の開催



日本将棋連盟主催のイベント「第47回将棋の日」を開催。「棋士のまち加古川」を全国にアピールし、将棋文化の普及を図ります。

▶ 760万円

福祉と医療の充実

がん患者医療用補整具購入費の助成

がん治療に伴う外見の悩みを抱える患者に対し、ウィッグなどの医療用補整具の購入費用の一部を助成し、経済的・精神的負担の軽減を図ります。

▶ 265万円

夜間・休日の診療体制の整備



完成イメージ

夜間と休日の一次救急医療施設として、11月に「東はりま夜間休日応急診療センター」を開設。安定的な医療体制の構築を図ります。

▶ 5億2,264万円

スマートシティの推進

スマートシティ推進に向けた取り組み

市のさまざまな課題について情報通信技術の活用により解決を図る「市民中心の課題解決型スマートシティ」の実現を目指します。また、パソコンやスマートフォンで証明書発行の手続きができる環境を整備します。

▶ 3,081万円

新小学1年生の見守りタグ 利用料を1年間無償化



新小学1年生の見守りタグの初期登録料と1年間の月額利用料を無償にします。ICTを活用した安全・安心のまちづくりを進めます。

▶ 436万円

登降園等管理システムの導入

公立保育園・認定こども園に、登降園時間の管理や保護者がアプリで欠席・遅刻の連絡などができるシステムを導入。保育業務のICT化を推進します。

▶ 857万円

結婚・出産・子育ての支援

新婚世帯への支援

新婚世帯の住宅購入や家賃、引っ越しなどの費用の一部を助成し、安心して新生活のスタートを切れるようサポートします。

▶ 4,516万円

東加古川公民館と子育てプラザの複合施設・東消防署の整備

令和4年度のオープンを目指し、加古川東市民病院跡地に東加古川公民館と東加古川子育てプラザを一体とする複合施設、東消防署を建設します。

▶ 14億1,741万円

子育てプラザ 託児サービス利用料の無償化



つかの間のリフレッシュをしたいときなど、家庭で育児をする保護者のさまざまなニーズに応えるため、託児サービスの利用料を無償化し、実施回数や時間、定員枠も拡充します。

▶ 465万円

新生児聴覚検査費の助成

新生児の聴覚検査費の一部を助成し、受検率を上げることで聴覚障害の早期発見、早期支援につなげます。

▶ 668万円

▶ 問い合わせ／財政課 ☎427・9116